

大牟田市立歴木中学校

1 本校のESDの特徴

本校では、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、福祉体験、職場体験、保育体験の交流体験および進路学習から、さまざまな課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学びを通して実生活や社会で生かされる思考力・判断力・表現力を身につけることをめざしています。

子どもたちが学習を進めていく中で「考え」たり「感じ」たりしたことから課題を見つけ、班目標、個人目標を設定し、実践につなげることがねらいです。また、共に活動することで、思いや願いを共有し、地域に貢献できる資質や能力を育成するようにすることを目指しています。



2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

<【保育体験学習】>

○保育体験学習オリエンテーション

- ・福祉体験学習に向けて、目的、内容、日程、マナーを学ぶ。

○保育について学ぼう

- ・ビデオを通して、保育園に通う年齢別に実態を知る。
- ・それぞれの対応の仕方や注意点について学ぶ。

○保育体験学習事前打ち合わせ

- ・グループごとに市内の福祉施設での打ち合わせを行う。

○保育体験事前準備

- ・自分たちで取り組む課題を考える（遊びの内容、関わり方、プレゼント）
- ・課題について、解決するための取り組みを考える。
- ・準備（プレゼント作成や遊び物や模擬訓練）を進める。

○保育体験学習2日間

- ・市内の福祉施設6カ所での体験学習を行う。

○学習のまとめ

- ・学習した内容をグループごとにまとめ、体験学習発表会を地域・保護者参観授業で行う。

3 特徴的な活動事例

保育についての正しい知識と理解を深める取り組み（3年生）	
目標	○保育体験学習を通して、相手の気持ちを考え、地域・社会へ貢献しようとする態度を養う。 ○体験の中で工夫して課題の解決に取り組むことができる。
実践の展開	①体験を通して、園児がどのような状態で過ごされているかを経験することで、相手の状況を考えた行動力やコミュニケーション能力が必要であることを理解するようにした。 ②事前学習、打合せの中で、どのような準備が必要かを考え、自分にできることは何かを考えるようにした。
生徒の感想	①私たちのことを「先生」と呼んでくれて慣れない呼ばれ方にとまどったけれど子供たちは可愛くて、でもただ可愛いだけじゃなくて転んでも立ち上がる強さを持っていて感心した。 ②この2日間の保育体験で子供たちにたくさんいやされ、たくさん元気をもらいました。私もこんな時があったのかと少し懐かしくなりました。そして、子供たちを預かる幼稚園の先生方大変さもとてもわかりました。どの仕事でも簡単ではない、ということ改めて考えることができました。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・生徒は全体的に明るく活動することができた。「喜んでもらう」「楽しい時間を共に過ごす」ために、何が必要かを考え、準備を班で分担して取り組むことができた。
- ・まとめは、個人でレイアウトを考えたレポートを作成することができた。体験の発表はグループで分担してできた。
- ・幼児期の子供について理解を深め、どう接していくべきか考えることができた。

○課題

- ・生徒によっては、園児とどう接したらいいのか分からず、自らの行動が積極的にできていない生徒もいた。明確な目標や自信を持って取り組ませる必要があった。
- ・発表会は、行事の内容に集中しやすく、保護者の参観もあり、子どもたちのモチベーションも高まっていたが、自分の考えをうまく伝えたり、質問にうまく反応することができていない面があった。

